



# 橋田小だより

## それしかないわけないでしょう

校長 齊藤 カオル

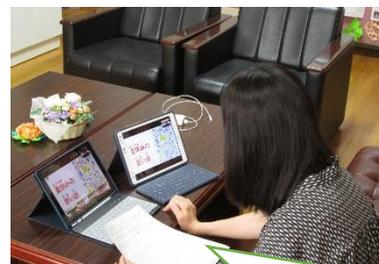
32日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。家庭や地域に帰った子どもたちの姿はいかがでしたでしょうか。家庭では、子どもたちがのんびりと過ごしながらも、主体的に過ごし方を考えたり、たくさんの課題を自分なりのペースでやり遂げたりする姿が見られたことと思います。ご支援をありがとうございました。地域では、子どもたちの姿があまり見られなかったかもしれません。それでも、地域の方にお会いする機会があった子どもが少しでも挨拶等のかかわりをもつことができているならば、うれしく思います。また、夏休み後半と夏休み明けの登下校時においては、保護者の皆様と地域の皆様からイノシシ対応で児童への温かな見守りをいただきました。ありがとうございました。

1学期後半の始まりの全校朝会で、子どもたちに次のように話をしました。

私は、夏休みに新潟県立万代島美術館で行われているヨシタケシンスケ展に行ってきました。(9月24日まで)ヨシタケシンスケさんは、絵本作家で、幼少期は、人見知りと引っ込み思案で、どうすれば怒られないかをずっと考えていた子どもだったそうです。(会社に勤めていた時代もその傾向は残っていたそうで、様々なストレスを愚痴のようにイラストに描いて消化していたそうです。だから、ヨシタケシンスケさんの絵本はへりくつや、負け惜しみ、言い逃れの集大成であると自身で述べています。)「だから、そういう子どもの気持ち分かる。」「こういう絵本があると一人ニヤニヤ読めて楽しいだろうな。」と思える本を作りたかったのだそうです。

(途中略)

夏休みが終わり、1学期後半が始まりました。『それしかないわけないでしょう』ヨシタケシンスケさんの絵本の題名です。でも、私は、「それしかないわけないでしょう」って、いい言葉だなあとと思います。問題を解決する方法は、一つではないということです。こんな方法はどうか？あんな方法はどうか？とまずは、自分で探してほしいと思います。それから、友達や学級のみならずと解決する方法を探してほしいと思います。1学期後半、みんなで心を合わせて頑張っていきましょう。



熱中症防止のため、全校朝会は、各教室へのリモート配信で行いました。

「それしかないわけないでしょう」

この言葉は、物事を多面的に見ることの大切さを教えてくれている気がします。私たち大人も子どもと向き合う時に、子どもの言っていることを出来事のすべてだとせず、子どもの本音や出来事の背景までを多様に想像してやる必要があるのではないかと思います。悪い出来事であれば、なおのことです。感情的になることを抑えて、まずは出来事の本質に迫るべく、思いを巡らせてみたいものです。そうすることで、「なるほど、そうだったのか・・・」「だから、こうなったのだな・・・」「それなら、もっとこうするとよいかもしれないな。」等、建設的な物の捉えや解決策に繋がっていくのではないかと思います。私たち大人も、対子どもだけではなく、多様な場面でも生かしていきたいものです。

1学期後半の始まりに当たり、このことをみんなで共有して、子どもたちを温かく見守っていくことができましたら幸いです。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました。

学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。同様のアンケートを子どもたちにも実施し、今後の各取組について検討しました。これからも、学校とご家庭が連携し、子どもたちの成長を促していきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

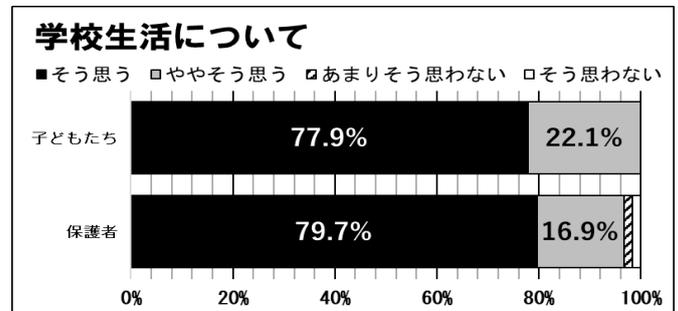
## ○アンケート結果について

子どもたちと保護者の皆様に行ったアンケートで、関連がある項目について比較できるようにして掲載しています。グラフ内の数字は、「そう思う」、「ややそう思う」という肯定的評価の数字を掲載しています。

### <全体にかかわる項目>

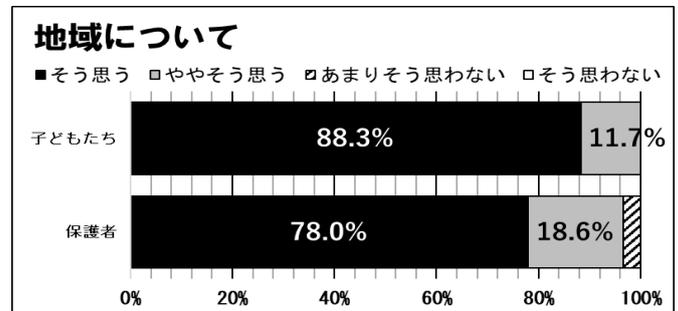
#### 学校生活について

子どもたち	毎日学校に来るのが楽しい。
保護者	お子さんは、学校が楽しいと感じている。



#### 地域について

子どもたち	橋田小学校の地域が好きだ。
保護者	学校は、地域・保護者の方と連携しながら教育活動を進めようとしている。

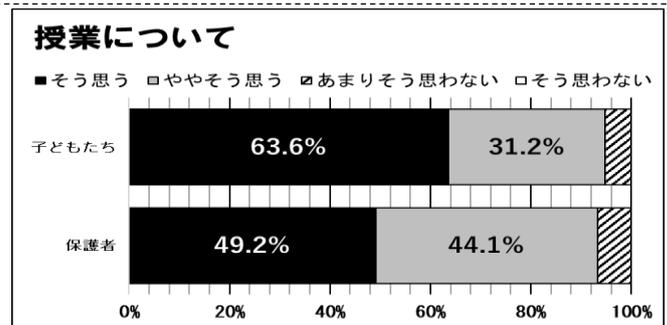


多くの子どもたちが学校に来るのを楽しみにしていて、うれしい限りです。どの子どもも、どのご家庭も「そう思う」と回答していただけるように、今後も取り組んでまいります。また、地域・保護者の皆様の考えを伺いながら、「地域とともに歩む学校」であり続けたいと考えます。今後も様々なご意見を大切にしながら教育活動を進めてまいります。

### <学習に関する項目>

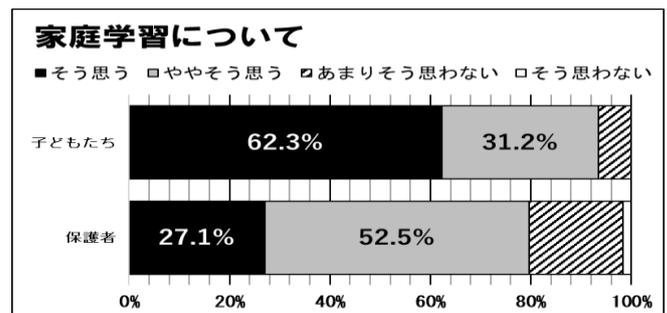
#### 授業について

子どもたち	授業で進んで、自分の考えを発言したり、自分の考えを書いたりできる。
保護者	お子さんには、学習した内容が身に付いていると感じている。



#### 家庭学習について

子どもたち	宿題やチャレンジ自学は、めあてをもって集中して取り組んでいる。
保護者	お子さんは、「10分×学年の数+10分」の家庭学習に取り組んでいる。



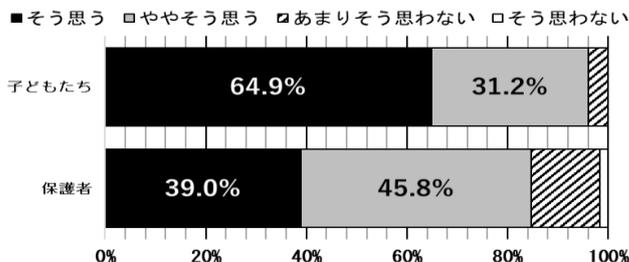
子どもたちが意欲をもちながら授業に参加することが、学習内容の定着に繋がると考え、授業での発問や対話活動を重視した取組を今後も行います。家庭学習については、時間は確保しているものの、めあてをもって学習しているという子どもは少ないようです。学習内容の質を高めるため、よい取組について子どもたちと共有したり、個々の取組を丁寧に見取り、それぞれに応じた指導を行ってまいります。

<生活にかかわる項目>

あいさつについて

子どもたち	「おはよう」など、自分から あいさつしている。
保護者	お子さんは、家の人に、進んであいさつしたり、返したりすることができる。

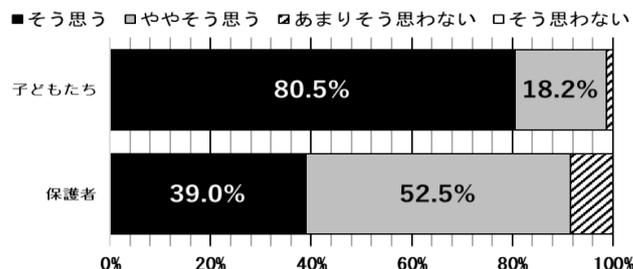
あいさつについて



思いやりのある言葉づかいについて

子どもたち	「ありがとう」「すごだね」など、相手の気持ちを温かくするふわふわことばを使っている。
保護者	お子さんは、「ありがとう」など、思いやりのある言葉遣いができている。

思いやりのある言葉づかいについて

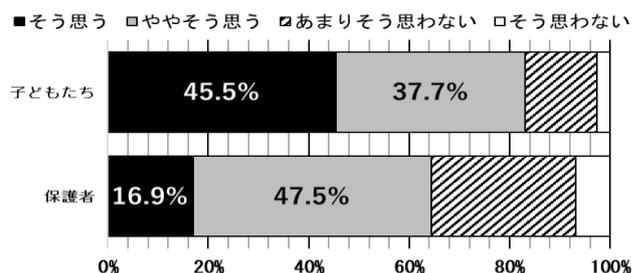


個々ではあいさつを返したりできる子どもが増えている反面、数人が一緒にいる場面では、人任せになり、とっさに声が出ない子どもが見られるようです。一日の生活の中で、一人一人が会う人に進んで気持ちよくあいさつができるように指導していきます。子どもたちがあいさつの大切さを理解し、頑張りたいという気持ちを高めることが相手を大切にす気持ちの醸成にも繋がると考えます。習慣化できるように粘り強く声を掛け続けていきます。

<メディアにかかわる項目>

子どもたち	生活リズム週間ではない日も、「わが家のゲーム・動画ルール」を守っている。
保護者	お子さんは、生活リズム週間以外の日も、「わが家のゲーム・動画ルール」を意識して生活している。

メディア使用のルールについて



家族で共有している場所でTVを介した動画視聴等、メディアを使用している状況もあると考えられます。この場合、子どもたちも一緒に視聴する時間が増え、制限時間を超えてしまう状況も生まれやすいと考えます。この機会にご家族でメディアとのかかわりを考え、お子さんの望ましいメディア環境づくりに努めていただきますようお願いいたします。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。子どもが「学校が楽しいところだと感じている」等の温かいコメントもお寄せいただきました。保護者の方々のお気持ちに感謝し、今後も丁寧な指導が子どもたちの成長の姿として現れるよう、全職員で一層努力していきます。

ご意見	回答
子どもが学校であった出来事をよく話してくれます。学校が楽しいところだと感じているようでうれしいです。	家庭と学校が些細なことでも情報を共有することで、より充実した教育が子どもたちに促せると考えています。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
家では自分のやりたい事を優先して、やらなければいけない事が中途半端になることがよくあるのですが、学校ではできているのでこれからもご指導をお願いいたします。	
家ではあまり感じる事が無いのですか、先生方の話を聞いていると学校では上級生の行動ができているということにびっくり!!やはり環境というのは大きく関係するんですね。	

<p>友達同士や1人での買い物がいけないとどこかのお便りで見ましたが、なぜ行けないのでしょうか？おつかいなどのお手伝いや買い物の仕方を学ぶのも勉強だと思います。</p>	<p>子どもたちが集まって自分たちだけで買い物をすることについては、金銭感覚が未熟な小学生の段階では、禁止とさせてもらっています。</p> <p>おつかい等で、買い物の仕方を学ぶことはとてもよいと思います。1人での買い物は禁止事項ではありませんので、子どもの成長を促すためにもご活用ください。</p>
<p>さん付けに必ずしないといけない理由が分かりません。いじめに繋がる呼び名をするのはよくないのでという理由は分かりますが、中学に行って、橋田の子どもたちだけがさん付けをしていて、とても違和感を感じます。</p> <p>それが抜けないため、仲がいいはずなのに距離があるような・・・。また友達作りをするにあたって、距離を縮めることがうまくいかず、苦戦してしまう子どももいると思います。授業や目上の人には敬意をもつ呼び方をするのは当たり前でそういうことを教えることが大切だと思います。</p>	<p>ジェンダーフリーの観点や、子どもの人権尊重のため、そして、学校での活動がオフィシャルな場であるという観点から、「さん」付けで呼ぶように、子どもたちに指導しています。教職員も一人一人を大切に「さん」付けで呼んでいます。</p> <p>ご指摘のデメリットの点も把握しながら、子どもたちになぜ「さん」とつけるのかということについて、今後考えさせていただきます。</p>
<p>今年は学校のプールが使えなくなり、市民プールへ行っての水泳授業となり、子どもも喜んでいたのでその対応に感謝です。衛生的にも市民プールの方が安心できますし、雨でも心配ないですし、来年も市民プールでというのもいいのかなと思いました。</p>	<p>今年度は思いがけない事態でご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんでした。市教育委員会指導のもと、次年度の学校プールの使用について検討してまいります。</p>
<p>国数のテストの日を連絡帳に書かせるなどしてもらおうと、親からも目的意識を高めるような声掛けができるので、お願いしたい。(現状は「明日テストがある」と口頭で聞くことが多い)テスト日は前日ではなく数日前に教えていただくと、テストに備えることができ、普段の勉強にもメリハリが出る。</p>	<p>数日前から予告し、家庭学習がより充実するように、職員間で共通理解を図りました。</p>
<p>タブレットの持ち帰りはよいのですがその分、使える時間を制限したり、ここしかダメだっというのがあるのもよいかもしれません。</p>	<p>今後一層タブレットの活用が当たり前になってきます。使用技術はもちろん、自己管理できるように学校でも指導していきます。ご家庭でも、家庭内での活用のルール作りから、ルールの遵守についてご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>地域の負担が少し多い気がします。核家族にはとてもハードです。役員をいろいろ作りすぎなのではないでしょうか。可能な範囲、ボランティアを募る、試行錯誤をお願いします。お金を集めたりするのも一苦労です。子ども会も縮小している中、子どもをもつと大変なことが多すぎる気がします。</p>	<p>今後も家庭数が減少していく傾向が見られるので、各団体でも役員の見直しを図っている最中です。いただいたご意見も各団体にお伝えします。</p>

**後援会に関するお礼**

橋田小学校後援会の趣旨に、多くの方からご賛同をいただき、ありがとうございました。今年度は、総額 306,600 円ものご協力をいただきました。子どもたちの活動のため、大切に使用させていただきます。